

「災害」新しい「取り組みを確認しました」

横浜市会議員 高橋まさはる

■特別避難場所に太陽光発電・蓄電池の設置

横浜市中では、地域防災拠点に指定されている小中学校で過ごすことが困難な方に対し、地域ケアプラザなど「特別避難場所」として質問しました。



横浜市議員 高橋 まさはる

公明党横浜市会議員団副団長 中山町320-5
www.masaharu.info
info@masaharu.info

045-929-5305



の意見を踏まえ決定したいと答弁しました。

加えて、設置した非常用電源の確実な運用のため

に、地域の方々との連携を生かした実地訓練の実施を求めました。

■内外ハザードマップを活用した浸水対策

集中豪雨などから市民生活や都市機能を守るために、内水氾濫による地域の危険度を示した「内水ハザードマップ」を今後の浸水対策にどう活かしていくのか質問しました。

■市立中学校昼食へ「スクールランチ」の導入

市立中学校における昼食のあり方について、食育や女性の社会進出など変化する社会情勢の観点から、家庭弁当との選択性で、栄養バランスのとれた「スクールランチ」の導入を提案しました。

林文字

市長は、地理的なパランスや、配置スペースなどの施設環境を考慮し、区役所など

市長は「スクールランチ」

も選択肢の一つであり、栄養バランスがとれ、メニューや量を選べる弁当方式や

近隣小学校の調理室を利用

策を講じる。同マップを今後の浸水対策計画に活かすことで、集中豪雨などに強い街づくりを目指していくと答えました。

市長は内水ハザードマップのシミュレーション予測を活用し、浸水の恐れのある箇所を明確にすると共に土のうを用意するなどの対策を講じる。同マップを今後の浸水対策計画に活かすことで、集中豪雨などに強い街づくりを目指していくと答えました。